

令和元年度 第1回久留米市環境審議会議事録

1. 日 時 令和元年12月3日 火曜日 15時30分開会 17時00分閉会
2. 場 所 久留米市役所本庁舎 1303会議室
3. 出席委員
会長 藤田 八暉 久留米大学 名誉教授
副会長 井手 信 聖マリア学院大学 学院長
池田 博子 久留米市女性の会連絡協議会 会長
石竹 達也 久留米大学 教授
刈茅 重信 久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事
権藤 裕子 久留米市農業協同組合 総務企画部総務課課長代理
最所 美博 久留米商工会議所 環境・エネルギー委員会 委員長
園田 茂 久留米三井薬剤師会 常務理事
高取 千佳 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
高橋 和子 くるめクリーンパートナー 代表
池鯉鮒 悟 久留米工業大学 建築・設備工学科 教授
濱崎 裕子 久留米大学 人間健康学部長
松木 洋忠 国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 所長
吉永 美佐子 高齢者快適生活づくり研究会 代表

事務局 大久保 勉 久留米市長 ※諮問後退席
甲斐田 忠之 環境部部長
原武 泰将 環境部次長
春木 博文 環境部環境政策課長
4. 欠席委員
清澤 聡 福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境長
柴本 喜久男 久留米市地区環境衛生連合会 会長
中嶋 裕之 久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授
藤田 真知子 久留米医師会 会員
5. 次 第
1 開会
2 委員紹介
3 正副会長の選出
4 諮問 久留米市環境基本計画について
5 議事
(1) 久留米市環境基本計画の改定について
(2) 久留米市環境基本計画に基づく行動計画平成30年度実績について
(3) くるめ生きものプラン平成30年度実績について

(4) 久留米市の平成28(2016)年度 温室効果ガス排出量について

(5) 久留米市役所エコアクションプラン平成30年度実績について

6 その他

(1) 平成30年度久留米市環境調査結果について

(2) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の進捗について

7 閉会

6. 提出資料等 別紙のとおり

7. 会議内容 別紙のとおり

1 開会

事務局から、環境審議会規則に定める開催定数を満たしている旨の報告。
大久保市長から挨拶。

2 委員紹介

今回は委員の改選後初めての審議会であることから、事務局から委員を紹介。

3 正副会長の選出

事務局から、前任の会長藤田委員と副会長井手委員に引き続きお願いしたいと提案し、満場一致で両委員を選出。

4 諮問

新たな「久留米市環境基本計画」策定にあたり、「久留米市環境基本条例」に基づき、環境審議会に調査審議をいただくため市長より藤田会長に諮問書を手渡す。

5 議事

議題 1 久留米市環境基本計画の改定について

春木環境政策課長 説明

藤田会長 : 事務局から久留米市環境基本計画の改定について、改定の趣旨、計画期間(案)、新たな計画に向けてのテーマ、今後のスケジュールの予定などについて説明がありました。これについてご意見、ご質問はございませんか。

先ほど久留米市長からの挨拶でも話がありましたが、持続可能な社会に向けた国際的合意として、新たに世界全体で取り組む目標として SDGs が採択されるとともに、気候変動枠組条約に基づくパリ協定が採択され、脱炭素社会を目指して取り組みが進められています。我が国では第5次環境基本計画において「地域循環共生圏」の創造が提示され、その取り組みが推進されています。地域循環共生圏は、ローカル SDGs という言い方もしておりますが、脱炭素社会、資源循環社会、自然共生社会の統合による持続可能な社会を構築するのが目的であり、地方・地域の特性に合わせてどのように取り組んでいくかが課題となろうかと思えます。また、近年問題視されている海洋プラスチック問題が G20 大阪サミットで主要テーマの1つとなり、海洋プラスチックごみによる汚染の削減を目指すことが決まり、マイクロプラスチックへの取り組みが課題となっています。これは海だけの問題ではなく最近の研究によりますと、大気にもマイクロプラスチックの影響が出ていると言われています。食品ロスの削減も大きな課題となっています。生物多様性の保全は2020年目標の見直しなどが課題となっています。このように前回の計画策定後に国際的な大きな取り組みや環境課題など非常に重要なテーマが出てきておまして、現計画の5つの基本目標をベースにこれらの新たな環境課題等を新たな計画の中に盛り込んでいかなければならないと考えます。

諮問を受けたばかりですが、今後こういったことを審議していかなければならないということで、ご自由にご意見等をいただければと思います。

今後のスケジュールとしては、事務局では来年中に答申をいただいて来年度中に新たな環境基本計画を決定できればという段取りであるかと思えます。今後具体的にどう計画案の審議をしていくかにつきましては、次回になるかと思えます。計画の骨子案が出来ましたら、市民団体との意見交換やパブリックコメントを実施していくこととなりますので、そういった状況を見ながら審議を進めていきたいと思えます。事務局では2月、8月、12月と環境審議会の開催を予定していますが、状況によってはさらに審議会の開催が必要かと考えております。今後の状況によって進めていきたいと思えます。

それではよろしいでしょうか。特にないようでしたら、久留米市環境基本計画の改定については、以上のように審議を進めていくことをご了承いただいたものとさせていただきます。

議題2 久留米市環境基本計画に基づく行動計画平成30年度実績について

春木環境政策課長 説明

藤田会長 : 今事務局から久留米市環境基本計画に基づく行動計画の平成30年度実績について説明がありました。その中で重点事業のNo.1 新エネルギー政策推進事業のエネファームと、No.15 環境美化促進事業のクリーンパートナーについて説明がありましたが、それに関わらずお目通しいただいて何なりとご質問ご意見いただければと思えます。今日は関係課長も出席されていますので、どの分野でもお答えいただけるかと思えます。

吉永委員 : 今説明いただいた若年層のところ、まなび事業はどれくらいの実績でしょうか。

春木課長 : 環境問題解決のためには、市民や事業者の皆さまへの啓発が非常に重要であると考えており、環境まなびのまちづくり事業を行っています。事業No.18、これは全体像になりますが、例えば環境フェア、小中学校での環境教室、生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業や環境啓発の拠点であります宮ノ陣クリーンセンター交流プラザに来ていただいた人数を目標としています。平成32年度目標を63,000人とおいていますが、平成30年度実績ではすでに64,000人を超えている状況です。啓発は非常に重要な側面ですので、今後もっと市民に広がるよう事業を推進していきたいと思っています。

石竹委員 : 事業No.15のクリーンパートナーの件で、事務局からの説明では登録者が高齢化してきているため若年層への取り組みをされているとのことでした。その中の一つであるスポーツGOMI 拾い大会は、ラジオ等で聞いて大変良い取り組みだと思えました。ただ単なるごみ拾いではなく、そこに何かを絡めることで娯楽性が加わることで参加も増えると思えます。そうした場合に実際の政策担当は環境政策課で、スポーツになると例えば健康増進といったように違う部局と連携する、情報収集などしないとなかなか難しいと思えます。計画策定後に意見を聞くことはあると思えますが、計画を作る時点で他部局と関係する、部署間連携といったようなことは可能なのでしょうか。部署だけのアイデアでは広まっていけないと思えます。大久保市長もこれまでの踏襲されたものの延長ではなく新しいことをしなさいとのことですので、そうすると政策を作るときの工夫も必要ではないかと思えますが、いかがでしょうか。

春木課長 : このスポーツGOMI 拾い大会は、ブリヂストン様の協力を得て共催という形で今年の3月に初めて実施しました。スポーツ関係の部局との連携についてですが、広報などの面で

協力を願うなどの連携はしていますが、事前の施策を作る段階での連携についてはできていない状況です。今後は健康増進など別の側面もありますので、できる部分で連携していきたいと考えています。

藤田会長： なかなか最初から発言しにくいかと思っておりますので、今回より新しく委員になられた5名の方に自己紹介をお願いしたいと思います。

(石竹委員、刈茅委員、高取委員、松木委員から自己紹介) ※清澤委員欠席

どうもありがとうございました。平成30年度実績についてご質問等お願いできればと思います。

松木委員： この環境基本計画では一番最初に温室効果ガスの排出から入り、目標としても新エネルギーの活用を数値目標まで掲げて頑張っておられると拝見します。改めてこの環境基本計画をみますと、施策内容の1丁目1番地は再生可能エネルギーの活用、バイオマス資源の活用となっておりますが、こちらの目標設定、また取り組み状況等があるかをお願いします。

春木課長： 再生可能エネルギーにつきましては、平成25年度に再生可能エネルギーの導入可能性調査を実施し、風力やバイオマスなどについて調査していますが、採算的には久留米市は太陽光発電が一番可能性があるという結果でした。これまでは太陽光発電への補助、現在はエネファーム、また太陽光を前提とした蓄電池、HEMS、V2H、これは電気自動車を蓄電池として使用するための接続機器ですが、その設置に対して補助をしている状況です。現環境基本計画には再生可能エネルギーの具体的な目標は置いていませんが、今年3月に策定しました環境基本計画の低炭素社会分野の個別計画である地球温暖化対策実行計画の中では、成果指標の一つに再生可能エネルギーの導入量を2025年度までに112,000kWにするという目標を置いてあります。現状値が88,502kWですので、今後太陽光を含めた再生可能エネルギーをさらに促進して、この目標値に近づけていきたいと思っております。この再生可能エネルギーの導入量は、今後環境基本計画を改定していく中で、一つの指標になるのかどうかも含め検討し、整合性を持った目標を立てていきたいと考えています。

藤田会長： 只今ご質問いただいたことは大変重要なことで、国は新しい地球温暖化対策計画を策定してしまっていて、それを受け市も新しい地球温暖化対策実行計画の区域施策編を今年3月に策定しています。それがどのような内容かということは、この環境基本計画の改定の審議の際にも必要だと思っておりますので、次回事務局から説明していただくことにしたいと思いますがいかがでしょうか。

松木委員： あわせてまして私の本業に密接に関連しますが、平成29年以降の山岳地域の災害対策等もありますが、森林保全、この環境基本計画では20ページ、また一つ前にも水資源のかん養という意味での森林保全に絡む施策が入っています。エネルギー問題と絡めて、間伐材の処理が我々の行政内部でも大きな課題となっております。間伐材は、ほとんど燃やしているに等しい処理の仕方をしてありますが、それを都市部でのエネルギーとしてカウントするような目標設定にすることはできないでしょうか。間伐材に積極的に少しでも価値を付けるような動きができればと願っています。

藤田会長： 森林環境税の活用等といったことでの取組みがあります。さらに国で「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立・公布されましたので、今後さらにいろいろな取組

みもしていかなければならないと思います。ご質問があったことに絡んで、地球温暖化対策の関係でも森林は吸収源として非常に重要な役割を果たしていますし、久留米市でも緑の基本計画が改定される際もそういった観点も盛り込まれています。担当課長にその後の取り組み状況を話していただければありがたいですが。

堤課長 : 今会長が言われましたのは、私どもが平成30年6月に策定した緑の基本計画の中の一部であるかと思います。2年前の会議で少し事業計画を説明しましたが、森林保全についてもしっかり取り組んでいくということで重点事業としています。まだ推進半ばですが、今後もしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

藤田会長 : その他いかがでしょうか。

高取委員 : No.11の自然環境の保全と共生事業について質問ですが、今回は計画の初年度ということもあって進捗評価がBになっていますが、目標が指標種の設定で、平成29年度はまだ設定していないということですが、これはこれから12月に環境省から発表がある予定ですが、それを見越して指標種を設定発表される予定なのでしょうか。

赤司課長 : 指標種の設定ですが、昨年と今年度と2か年をかけて、市で自然環境調査を実施しています。その結果を踏まえて、久留米の豊かな自然を市民の方にも理解いただき、機会があればその生物を見ることで豊かさを確認できるような指標種を、令和2年度までに設定する予定です。

春木課長 : 先ほどの森林関係の木質バイオマスなどのエネルギーの話ですが、市でも荒廃森林再生事業等により県の森林環境税を活用しながら森林の管理を行っています。その一部につきまして、日田の木質チップのバイオマスなどでエネルギーとして使用している状況ですが、数量などは把握していない状況です。

藤田会長 : そういった具体的な事業について取り組みもされているということですか。その他いかがでしょうか。

池田委員 : 私たち女性の会はほとんどの会員が50歳以上ですが、もったいないという気持ちを皆持っており色々な活動をしています。何度も行っていますが、宮ノ陣クリーンセンターでどんなことをしてあるのか、私たちがどんなことに協力すればいいのかということで今年も見学させていただきました。施設見学で皆さんにトラックが色々な品物を持ってくるところやきれいに分別されているところ等を見ていただき、特に校区の役員さんには校区に帰って他の方に報告し広めていただくようお願いしています。リサイクルも例えば着物なども捨てずに色々なものに作り替えて売ったり、いただきもので不要な品を1年に1回程度文化祭などに出してもらい、必要な方にも買ってもらうということも行っています。今は何でも使い捨てることが多いと思いますので、年配者が若い方に教えていくことも大切だと思います。女性の会ではエコキャップを集めることが、南の国の子どもたちの役に立つということもあり公民館で集めています。とにかく地球温暖化の恐ろしさを知り防止していくためにどうすればいいかを話しています。小さなことですが、そういったことから皆で頑張っております。

藤田会長 : 今お話しいただいたことは、事業No.9、10関連になるかと思いますが、資源循環推進

課長、関連して説明いただくことがあればお願いします。

樋之口課長 : 今まさに池田委員が言われましたとおり、小さなことからコツコツとやっていく、もっ
たいないという気持ちの醸成を図っていくことは、非常に重要なことだと思っています。
私どもも色々な地域に入りまして、皆さまと一緒にごみ処理の現状、分別の在り方を実際、
目で学んでいただくための研修会等を実施しています。この研修会等を今後も回数や対象
を増やししながら、ひとつずつですが皆さまのごみ分別への理解を深めていただこうと頑張
ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

最所委員 : 環境問題は幅が広く、個々の重点事業だけでもこれだけたくさんある訳ですが、その中
でも、コミュニティサイクルや防犯灯などピンポイントの事業から、先ほど少し出ていま
したが、自然環境の保全と共生事業など幅の広い事業目標も掲げてあります。こういった
事業に優先順位やロードマップというものが想定されているのかと、また進捗の評価につ
いてSやAの基準をお聞かせください。

春木課長 : 具体的なロードマップにつきましては、それぞれの事業であるものとなないものがありま
す。評価の仕方については、30年度実績の下段に評価基準を書いています。1年目で
すが既に目標を達成しているものはS、目標を達成できる見込みのものはA、目標達成に
は努力を要するものはB、目標達成までには厳しい状況にあるものはCというように整理
をしています。

松木委員 : お願いまでですが、河川の汚濁、また化学物質による汚染の部分で、計画に書かれてい
るとおり今後進めていただきたいと思えます。水質については排水規制等により改善され
てきているという記述の通りだと思えますが、今実務上で困っていますのが、水質の事故
対策です。なるべく予防し発生しても小さく収めようとしています。現実に先月も久留
米市内で油の流出事故が起きました。8月の佐賀の事故は皆さん記憶にあるかと思いま
すが、今回は大変小規模でした。規制したり皆さん気を付けたりしても、事故というも
のは起こりえますので、今どこにどんな油や危険物質やどんな水質事故対策の可能性があ
るのかについて、一斉調査を筑後川流域ではじめております。面積的にもボリューム的
にも久留米市がたくさん保有してありますので、これは我々の行政からの呼びかけで調査し
ますが、ご協力をお願いしまして発言させていただきます。

藤田会長 : 後ほど久留米市の環境の状況について、担当課から説明があるかと思えますが、今の件
についても知っておいていただければと思えます。それでは以上でよろしいでしょうか。
次の議題に移らせていただきます。

議題3 くるめ生きものプラン平成30年度実績について

赤司環境保全課長 説明

藤田会長 : それではご質問、ご意見等お願いいたします。この関係につきましては、高取委員が専
門分野かと思えますので、またご意見いただければと思えます。

高取委員 : 環境調査を実施されているということで、市民の認知度、関心にしてもこれから高めて
いきたいというところかと思えますが、環境調査の結果を、誰もがすぐに見れるように、
例えば、GPSやWebGIS等も普及してきていますし、GPSやWebGIS等とはどういっ
た地点で生物が観測されたかやどんな生物がいたかというようなことを、市民が実際にそ

の場でアップして皆さんで共有したりするものですが、そのように楽しみながら活動をされているところもあります。ぜひそういった工夫もしていただければと思います。

藤田会長 : これにつきましては、くるめ生きものプラン行動リストを作成し、市民に配布もされています。それではこの議題につきましてはよろしいでしょうか。次の議題に移らせていただきます。

議題4 久留米市の平成28(2016)年度 温室効果ガス排出量について

春木環境政策課長 説明

藤田会長 : 久留米市の平成28(2016)年度の温室効果ガス排出量について、ご意見、ご質問をお願いします。

井手委員 : 温室効果ガス排出量の変化で、民生業務部門と民生家庭部門が基準年度比で42.6%と37.3%と非常に増加していますが、これはよその市町村と比べてどうなのでしょう。よそも同じような部門が高いのでしょうか。

春木課長 : これにつきましては他の市町村、全国でも大体同じ状況だと思います。今度の新しい地球温暖化対策実行計画の目標につきまして、全体では26%削減ですが、国の計画でも民生業務部門で40%の削減目標、民生家庭部門でも同じく40%の削減目標と高くなってあります。

藤田会長 : よろしいでしょうか。次の議題に移らせていただきたいと思います。

議題5 久留米市役所エコアクションプラン平成30年度実績について

春木環境政策課長 説明

藤田会長 : ご質問、ご意見お願いいたします。この関係につきましても、今年の3月に地球温暖化対策実行計画の区域施策編とあわせて事務事業編も策定されていますので、また次回報告をしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。質問等ないので次に進ませていただきます。その他につきまして簡単にご報告をお願いします。

6 その他

(1) 平成30年度久留米市環境調査結果について

赤司環境保全課長 報告

(2) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の進捗について

樋之口資源循環推進課長 報告

藤田会長 : ご質問ございますか。特にないようでしたら報告については以上とさせていただきます。今回予定の議題は終了ですが、委員の皆さまから何かございましたらご発言をお願いします。

最初にお断りをすべきでしたが、新しく委員になられた方へ、この審議会の議事録は市ホームページで公表しております。事務局がとりました議事録は、事前に各ご発言の部分について確認いただいた後、最終的な調整は私に任せていただきまして、確認した上でホームページで公開していますので、ご了承いただければと思います。

それから次回の審議会の開催予定ですが、年明け2月に今のところ予定していますので、

また事務局の作業の進捗を見ながら開催日を調整させていただこうと思っています。ご承知おきいただければと思います。では事務局からその他にありますか。特にはないですね。

7 閉会

藤田会長 : それではこれもちまして、本日予定の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただき、滞りなく終了しましたことに御礼申し上げます。これにて第1回環境審議会を閉会といたします。

以上